

さっぽろ

市議会だより



さっぽろスイーツ2007コンペティション
グランプリ受賞作品

さっぽろ白いティラミス

平成18年第4回札幌市議会定例会終わる

第4回定例会
平成18年度一般会計補正予算などを可決 p.1
若者の雇用対策の強化を求める意見書などを可決 p.2
代表質問から p.3

その他
市議会タイムマシーン p.7



しぎがいくん

さっぽろ市議会だより №73 平成19年(2007年)1月発行

平成19年第1回定例会 審議日程(予定)

下表のとおり、2月9日から3月7日までの会期27日間で開かれ、各会派の代表質問は2月14日から3日間の予定です。

月 日	審 議 日 程
2月9日(水)	※本会議 (招集日)提案説明など
2月14日(水)	※本会議 代表質問
2月15日(木)	※本会議 代表質問
2月16日(金)	※本会議 代表質問、議案付託 〔予算特別委員会①〕 〔常任委員会〕 〔矯正予算案など議決〕
2月19日(月)	(休会)
2月20日(火)	※本会議 補正予算案など議決
2月23日(金)	(休会)
2月27日(火)	(休会)
2月28日(水)	(休会)
3月2日(土)	(休会)
3月5日(月)	(休会)
3月7日(水)	※本会議 (最終日)

※インターネットによるLIVE中継を予定しています。

審議日程の詳細については、議会事務局または、市コールセンターにお問い合わせください。

札幌市議会事務局総務課
☎011-211-3162 Fax 011-218-5143
札幌市コールセンター
☎011-222-4894(フリーダイヤル)

編集発行 札幌市議会事務局 ☎011(211)3162
011(218)5143



ぜひ、ご覧ください



しぎがいくん



さっぽろ市議会ホームページアドレス
<http://www.city.sapporo.jp/gikai/>



▲年間のあいだつとめる大庭議員

1月5日、新年度の議員会派が本会議で開かれた。まず、議員会長であり、大庭議員が年頭のあいだつとめる大庭議員の挨拶があった。地方自治体における目次定稿が重要な意味を持つ。札幌市議会として、189万の市民の負担に立ち向かう。議員一同、英知を集め、市政のさらなる発展に力を尽くす。議員一同、英知を集め、市政のさらなる発展に力を尽くす。

議員会から

議員一同の英知を結集し、全力で取り組みを

市議会タイムマシーン

ここでは、大正11年開設以来の市議会の歩みを紹介しています。今回は第16期市議会です。

第16期 昭和68年5月2日(昭和62年5月1日・定数70名)

多彩な行事

冬季アジア競技大会、花と緑の博覧会などの各種イベントの開催、札幌市の森、札幌テクノパーク、環状路のグリーンベルトといった施策の推進、国鉄高架事業、地下鉄東豊線など大型プロジェクトの推進により、一層の市民生活の向上が図られました。

55花と緑の博覧会
(昭和61年6月)
市民会館での記念式典、大正11年からの歴史や花博の進行状況などに関する資料が展示されました。



4 消防局新庁舎竣工
(昭和62年2月)
南2条地区に建てられ、防災機能を併設しています。



この期の主な出来事

- 京都市の人口を抜く(昭和68年5月)
- 男女雇用機会均等法成立(昭和63年5月)
- スパイクタイヤ使用規制条例成立(昭和62年2月)

第4回 札幌市議会定例会

平成18年度一般会計補正予算などを可決

平成18年第4回定例会は、11月28日から12月13までの16日間開かれました。代表質問は12月5日・6日に行われ、5人の議員がそれぞれ会派を代表して、提出された議案と市政に関する諸問題について質問しました。最終日までに、平成18年度一般会計補正予算や、札幌市議員の給与を減額する条例改正案など議案25件、意見書案9件、陳情1件が全会一致または賛成多数で可決、同意、採択され、人権擁護委員候補者推薦に関する件が、全会一致で推薦することが適当と認められました。



可決された主な議案

札幌市議員給与条例及び札幌市特別職の議員の給与に関する条例の一部改正
札幌市一般会計補正予算

本市人事委員会の勧告や国の指圖書内容などを踏まえて、議員の給与を引き下げた改正をするものです。これに伴い、「一般会計」特別会計および企業会計で総額2億2000万円の減額となります。

札幌市一般会計補正予算

耐震性が著しく低下し、現在使用を中止している白鳥会館の解体撤去などに要する経費として750万円を追加するものです。このほか、年度内に執行が困難となる工事の事業費を翌年度に繰り越すための繰返明許費の補や、来年度業務のうち教育訓練期間を確保する必要から今年度中に契約を締結する必要があるためについて、債務負担行為の補正をするものです。

札幌市児童福祉施設条例の一部改正

東区に保育・子育て支援センターを設けるときに、配置する保育士の人員確保、施設設備の老朽化を



▲本市4層目の保育・子育て支援センターが、東区にオープンする(写真は西區保育・子育て支援センター)

札幌市生活環境の整備に関する条例の一部改正

大気汚染防止の一部改正により、石綿の飛散防止が拡充・強化されたことに伴い、石綿を飛散させる建築物が使用されている建築物の解体などの作業について、条例の規制範囲を法令と同様拡大する改正を行うものです。

可決された意見書案

リハビリテーションの改善に関する意見書

住居が安心して医療を受けられるよう、国や自治体と連携して、リハビリテーションの改善に関する意見書。①リハビリテーションを希望する者の受け入れ体制を整えること。②リハビリテーションの設備整備について、疾病類型別の日数制限を廃止すること。③診療報酬改定におけるリハビリテーションの改善に関する意見書。④経過措置や除外規定の周知徹底を図ること。⑤効果的認められるすべてのリハビリテーションが提供できるように、設備の充実を図ること。

ヌルハルウ札幌の存続を求める意見書

日本郵政公社は、現代化に向け準備を進める中で、旧市力開の郵便局舎を廃止するものも出ており、関係する方針を打ち出した。当該郵便局は、中央区、の公設庁として、今後も大きな社会貢献が期待されておる。日本郵政公社に閉鎖の方針を見直し、当該郵便局舎を存続させ、そのあり方を政府に要望するものである。

家庭用灯油の安価供給と適正価格を求める意見書

原油価格が下がっているにもかかわらず、石油製品価格を反発させ、安定供給の確保について、国民の不安が広がっている。また、政府および北海道の施策を踏まえて、①石油関連白油の供給の安定供給を確保し、元売業者が原油価格や精製・運搬コストの上昇分を適正に転嫁しないよう、指導を強化すること。②消費者の負担軽減の観点から緊急の施策を講ずること。

森林、林業施策の充実に関する意見書

国が「次世代政府」の次々を要望するもので、平成19年度予算において、新たな森林、林業基本計画を着実に推進するための財源を確保すること。①地球温暖化を防止する森林吸収域を確保し推進すること。②安定的な財政確保の確保を行うこと。

医療制度に関する意見書

医療制度の抜本的な改革の推進を受け、平成18年10月の現役並みの所得を得る若くは高齢者の窓口負担を可及的に軽減すること。①健康保険料率の引き上げをめぐり、国民が安心して暮らせるよう医療制度を確保すること。

国が「次世代政府」の次々を要望する意見書

①医療制度の改革の推進を受け、平成19年度予算において、新たな森林、林業基本計画を着実に推進するための財源を確保すること。②地球温暖化を防止する森林吸収域を確保し推進すること。②安定的な財政確保の確保を行うこと。

義務教育無償、義務教育費国庫負担の堅持を求める意見書

義務教育無償、義務教育費国庫負担の堅持を求める意見書。①義務教育費国庫負担を堅持するため、教育予算を拡充すること。②30人以下小校の早期廃校のため必要経費削減を講ずること。

「まちづくり」の新たな体制確保を求める意見書

日本が設立された「まちづくりセンター」が設立され、平成18年11月2日全国で、者に業務を開始した。今後、地域課題が年間1000万件を超えようと考えられていることから、まちづくりに関する体制を整えること。

どの理由により、大連泊保育園を廃止するものです。なお、これらのセンターの設置および保育所の廃止は、来年4月の予定ですが、廃止される保育所の人児童数は、大連夜間保育園の定員増などにより、引き続き保育を受けることができます。

若者の雇用対策の強化を求める意見書

若い世代の失業率が他の世代の倍以上に伸び、法律に反する雇用形態や労働条件で、その多くを企業に押し付けている実態。また、労働契約の適正化、年令、健康保険の加入の促進、最低賃金の引き上げなど、人間らしく働ける労働条件を求める声にこたえなければなりません。よって、若者の雇用対策条件の改善のため、特別の対象を講ずるよう、国が「次世代政府」に要望するものである。

非核兵器禁止を堅持し、核廃絶に積極的な貢献を求める意見書

非核兵器禁止を堅持し、核廃絶に積極的な貢献を堅持し、北朝鮮をはじめ、この世界における核廃絶のため積極的な貢献を求めようとするものである。

